



## 令和6年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和6年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社サイネックス  
コード番号 2376 URL <https://www.scinex.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営管理本部長  
四半期報告書提出予定日 令和6年2月14日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(氏名) 村田吉優  
(氏名) 浅田秀樹 TEL 06-6766-3333  
配当支払開始予定日 ー

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和6年3月期第3四半期の連結業績（令和5年4月1日～令和5年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第3四半期	11,168	8.5	204	82.9	281	28.2	155	46.7
5年3月期第3四半期	10,290	0.0	111	△46.4	219	△4.7	105	△5.1

(注) 包括利益 6年3月期第3四半期 183百万円 (64.3%) 5年3月期第3四半期 111百万円 (4.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第3四半期	27.67	ー
5年3月期第3四半期	18.86	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第3四半期	14,412	7,622	52.9
5年3月期	14,426	7,508	52.0

(参考) 自己資本 6年3月期第3四半期 7,622百万円 5年3月期 7,508百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	ー	0.00	ー	12.50	12.50
6年3月期	ー	0.00	ー		
6年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 令和6年3月期の連結業績予想（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,100	5.6	520	7.4	550	0.1	320	2.3	57.06

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年3月期3Q	6,470,660株	5年3月期	6,470,660株
② 期末自己株式数	6年3月期3Q	862,677株	5年3月期	862,677株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年3月期3Q	5,607,983株	5年3月期3Q	5,607,983株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において当社グループは、地域社会への貢献という経営理念に基づき、地方自治体や地域事業者のパートナーとして、広報やプロモーションを通じてサポートいたしました。また、官民協働による行政情報誌『わが街事典』の発行やデジタルサイネージ『わが街NAV I』の設置など、地方創生プラットフォーム構想により、様々な分野で地方創生支援事業に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、メディア事業の行政情報誌『わが街事典』の発行やデジタルサイネージ『わが街NAV I』の設置等が順調に推移し、ロジスティクス事業におけるDMソリューション事業の取引拡大もあり、売上高は対前年同期比8.5%増の111億68百万円、営業利益は対前年同期比82.9%増の2億4百万円、経常利益は対前年同期比28.2%増の2億81百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年同期比46.7%増の1億55百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### ①メディア事業

メディア事業におきまして、官民協働による行政情報誌『わが街事典』は、既存発行自治体との改訂版の発行に取り組むとともに、新規発行自治体の開発に努め、大阪府大阪市や千葉県市川市などで改訂版を発行するとともに、埼玉県朝霞市や愛知県知多市などで新たに発行するなど、当第3四半期連結累計期間において137の市区町村と共同発行した結果、事業開始以来の共同発行自治体数は通算1,078、同じく改訂版を含めた発行版数は通算2,503となりました。また、ジャンル別行政情報誌は、地域の子育て支援のための子育て情報誌や空家問題の解決に向けた空家対策情報誌などの発行を拡大いたしました。50音別電話帳『テレパル50』は、引き続き行政情報や特集企画を掲載した電話帳の発行を進めました。

地域のデジタルトランスフォーメーションを官民協働で促進するデジタルサイネージ『わが街NAV I』は、当第3四半期連結累計期間において、大阪府門真市と協働でイオンスタイル古川橋駅前に設置、三重県伊勢市と協働でイオンタウン伊勢ラパークに設置、福岡県大牟田市と協働でゆめタウン大牟田に設置するなど大型商業施設53箇所に設置するとともに、愛媛県東温市庁舎に設置するなど自治体関連施設8箇所に設置した結果、当第3四半期累計期間合計61箇所、事業開始以来通算266箇所となりました。

官と民が一体となって地域の魅力を発信する準公式シティプロモーション特設サイト『わが街ポータル』は、当第3四半期連結累計期間において、埼玉県川越市と『わが街ポータルかわごえ（通称 コエドカラー）』を公開いたしました。令和4年2月の事業開始以来、通算11自治体と協定を締結、うち8自治体の『わが街ポータル』を公開し、公開準備中の山口県下関市、沖縄県石垣市および青森県三沢市の3自治体につきましても、運用開始に向けて協働構築を進めるとともに、他の自治体に対し、官民協働による開設を提案いたしました。

以上の結果、メディア事業の経営成績は、外部顧客への売上高は対前年同期比11.3%増の51億99百万円、セグメント利益は対前年同期比17.7%増の7億54百万円となりました。

#### ②ICT事業

ICT事業におきまして、自治体向けサービスや地域のプロモーション支援、eコマース事業の拡大に取り組みました。

自治体向けとして、住民から自治体への質問に対しAIが自動応答するAIを活用した総合案内サービス「AIチャットボット」の導入を進めており、当第3四半期連結累計期間において、新たに栃木県日光市、群馬県富岡市等と契約を締結し、事業開始以来の契約自治体数は通算117となりました。

eコマース事業では、eコマースサイト『わが街とくさんネット』や『食彩ネット』は、納期の短縮や販路の拡大を進めました。ふるさと納税支援事業は、新たに埼玉県鴻巣市とふるさと納税支援に関する契約を締結するとともに、契約先自治体に対し、当社ならではの提案でオリジナルな返礼品の選定、開拓、企画等に取り組みました。

民間企業向けサービスでは、Googleビジネスプロフィール『わが街Mapping』の販売に取り組むとともに、子会社株式会社ベックによるシステム開発支援も進めました。

以上の結果、ICT事業の経営成績は、令和5年5月に連結子会社化した株式会社ナインの収益貢献があったものの、外部顧客への売上高は対前年同期比0.2%増の15億40百万円、セグメント利益は対前年同期比20.0%減の1億3百万円となりました。

#### ③ロジスティクス事業

ロジスティクス事業におきまして、DMソリューション事業は、新規の代理店獲得や既存顧客の取引拡大に努め、ポストイン事業も引き続き既存顧客との紐帯強化に努めた結果、外部顧客への売上高は対前年同期比13.1%増の37億2百万円、セグメント利益は対前年同期比49.7%増の42百万円となりました。

④ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきまして、歯科医師向けの歯科医療機械器具・歯科材料の販売に努めましたが、今期は新規開業支援案件が前期に比べ減少しているため、外部顧客への売上高は対前年同期比10.8%減の6億66百万円、セグメント利益は対前年同期比22.2%減の14百万円となりました。

⑤投資事業

投資事業におきまして、当社の不動産賃貸収入による外部顧客への売上高は、対前年同期比0.9%減の59百万円、セグメント利益は対前年同期比4.3%増の39百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、144億12百万円となり、前連結会計年度末比13百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少額5億25百万円等に対し、投資有価証券の増加額2億37百万円、流動資産のその他の増加額1億80百万円等によるものであります。

負債は、67億90百万円となり、前連結会計年度末比1億27百万円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金の減少額（1年内返済予定のもの含む）1億14百万円、未払法人税等の減少額1億11百万円等によるものであります。

なお、純資産は76億22百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末比0.9ポイント上昇し、52.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年3月期の業績予想につきましては、令和5年5月12日に公表いたしました「令和5年3月期決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,260,023	4,734,621
受取手形、売掛金及び契約資産	1,510,950	1,520,480
有価証券	47,395	50,051
商品及び製品	58,811	99,608
仕掛品	23,338	34,113
原材料及び貯蔵品	36,824	18,558
その他	345,967	526,635
貸倒引当金	△6,311	△6,744
流動資産合計	7,276,997	6,977,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,140,099	2,047,173
機械装置及び運搬具（純額）	74,234	55,405
土地	2,748,872	2,751,035
リース資産（純額）	103,779	159,209
その他（純額）	49,405	100,523
有形固定資産合計	5,116,390	5,113,346
無形固定資産		
のれん	231,216	251,317
その他	22,522	27,275
無形固定資産合計	253,738	278,593
投資その他の資産		
投資有価証券	701,829	939,380
その他	1,078,912	1,105,513
貸倒引当金	△1,380	△1,380
投資その他の資産合計	1,779,361	2,043,513
固定資産合計	7,149,491	7,435,454
資産合計	14,426,489	14,412,778

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,002,559	1,058,402
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	207,884	225,024
リース債務	31,895	49,914
未払法人税等	141,286	30,060
前受金	406,482	402,495
賞与引当金	148,082	83,750
その他	380,824	407,809
流動負債合計	2,369,016	2,307,457
固定負債		
長期借入金	3,155,025	3,023,666
リース債務	83,803	127,916
役員退職慰労引当金	101,918	109,013
退職給付に係る負債	1,181,698	1,198,773
その他	26,471	23,728
固定負債合計	4,548,916	4,483,099
負債合計	6,917,932	6,790,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	1,047,847	1,047,847
利益剰余金	6,215,974	6,301,021
自己株式	△516,950	△516,950
株主資本合計	7,496,871	7,581,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,384	42,495
退職給付に係る調整累計額	△2,699	△2,193
その他の包括利益累計額合計	11,684	40,302
非支配株主持分	—	—
純資産合計	7,508,556	7,622,221
負債純資産合計	14,426,489	14,412,778

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	10,290,786	11,168,227
売上原価	5,999,960	6,663,363
売上総利益	4,290,826	4,504,864
販売費及び一般管理費	4,179,145	4,300,591
営業利益	111,680	204,272
営業外収益		
受取利息	6,397	5,966
受取配当金	9,104	8,551
受取家賃	4,747	5,353
複合金融商品評価益	16,398	18,850
投資事業組合運用益	—	5,613
貸倒引当金戻入額	8,212	—
為替差益	28,850	30,702
保険解約返戻金	33,453	—
その他	14,422	15,429
営業外収益合計	121,587	90,467
営業外費用		
支払利息	12,050	11,548
その他	1,489	1,505
営業外費用合計	13,540	13,054
経常利益	219,728	281,685
特別利益		
固定資産売却益	1,670	16,867
特別利益合計	1,670	16,867
特別損失		
固定資産除却損	5,059	262
特別損失合計	5,059	262
税金等調整前四半期純利益	216,339	298,290
法人税、住民税及び事業税	74,966	112,253
法人税等調整額	35,619	30,889
法人税等合計	110,585	143,143
四半期純利益	105,753	155,147
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,753	155,147



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
四半期純利益	105,753	155,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,148	28,111
退職給付に係る調整額	2,963	506
その他の包括利益合計	6,112	28,617
四半期包括利益	111,865	183,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,865	183,765
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア 事業	I C T 事業	ロジスティ クス事業	ヘルスケア 事業	投資事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	4,672,776	1,536,841	3,273,650	747,023	60,495	10,290,786	—	10,290,786
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,636	20,176	261,064	240	—	284,117	△284,117	—
計	4,675,412	1,557,017	3,534,714	747,263	60,495	10,574,904	△284,117	10,290,786
セグメント利益又は 損失(△)	640,932	129,750	28,664	18,440	38,198	855,987	△744,306	111,680

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△744,306千円には、セグメント間取引消去△10,113千円、のれんの償却額△32,417千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△701,775千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア 事業	I C T 事業	ロジスティ クス事業	ヘルスケア 事業	投資事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,199,059	1,540,308	3,702,695	666,187	59,976	11,168,227	—	11,168,227
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,833	11,953	300,881	—	—	315,668	△315,668	—
計	5,201,892	1,552,262	4,003,577	666,187	59,976	11,483,896	△315,668	11,168,227
セグメント利益又は 損失(△)	754,029	103,826	42,901	14,346	39,850	954,954	△750,682	204,272

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△750,682千円には、セグメント間取引消去4,462千円、のれんの償却額△37,103千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△718,041千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。